

第5回豊中地区キャンポリー

基本実施要項



「Feel the Nature Feel the Scouting!」

ビーバー・カブ部門

滋賀県立希望が丘文化公園・青年の城

B V S 平成23年8月13日(土)～15日(月)

C S 平成23年8月13日(土)～16日(火)

ボーイ・ベンチャー部門

グリム冒険の森

平成23年8月10日(水)～16日(火)

日本ボーイスカウト大阪連盟

豊中地区

目 次

第1章	開催趣旨	1
第2章	名称	2
第3章	テーマ	2
第4章	会場	2
第5章	会期	2
第6章	参加人員と参加資格	3
第7章	参加費	3
第8章	参加申込	4
第9章	キャンポリー活動と日程	4
第10章	組織と運営	5
第11章	会場利用計画と参加者の生活	5
第12章	輸送	6
第13章	安全管理と救護衛生	6
付表－1	大会組織図	7
付表－2	大会本部の各部の所掌業務（その1）	8
	大会本部の各部の所掌業務（その2）	9
付表－3	BVS・CS部門 希望ヶ丘文化公園 会場周辺図	10
付表－4	BS・VS部門 グリム冒険の森 会場周辺図	10
付表－5	キャンポリー年表	11

第1章 開催趣旨

平成16年に豊中地区キャンポリーを開催して6年が経った。そして今年は地区結成35周年を迎える。その間にもスカウトの登録者数は年々減少しており、この大会を地区、団の活性に繋げる大会とする。スカウト運動の賛同者を得るためには、この運動のすばらしさを、身をもって体験し本来のスカウト運動に自信を持って活動することが多くの賛同者を得ると考える。その為には時代のニーズに反映したプログラムを展開し、スカウト教育法を再確認し長期キャンプを実施することによりスカウト教育法の活性化を図る。ビーバー部門カブ部門では一貫教育の重要性を再確認する。そして大阪連盟キャンポリー、第23回世界ジャンボリーの開催を視野に入れた新たな躍進の場としてこの大会を位置づける。又第5回地区キャンポリーを開催することによって地区、団の更なる発展を約束し、豊中地区結成35周年を一つの節目と考える大会とする。

プログラム実施に関しては、野外活動を通じて平素つちかったスカウト訓練を基盤に、標準隊を目指し、隊、班（組）中心の自主運営によりスカウトが自主的に活動できるように促し、夏のキャンプ（舎営）が年間プログラムのハイライトであることを位置づけるキャンポリーとなるようにし、スカウト運動の一層の発展と躍進を期する事を目的に開催する。

B－P

『スカウティングは野外で行う楽しいゲームであり、少年の心を持った大人と少年たちが兄弟のように一緒に冒険に出かけたり、健康や幸福、ハンドクラフトや役に立つことを身につける場なのだ』

大会目標

ビーバー部門

自然に親しみ、多くの友達と仲良く遊び、仲間と喜び楽しみをわかちあう

カブ部門

自然に親しみ愛護する心を育てる

組活動を通じて人間関係技能を高める機会を提供する

組への所属意識を高め充実感がもてるようにする

ボーイ部門

野外活動を通して大自然を知り、愛と感謝の心を養う

班、隊活動を通じて自分の役割と責務を学びリーダーシップを身につける

スカウト自らが目標を定めて体験する活動を行う

ベンチャー部門

「ちかい」と「おきて」の実践に励む

自ら計画したプロジェクトを達成する

野外活動を通じて自らの健康の増進を図り、自己確立を目指す

ローバー部門

高度の野外活動により、心身を鍛練しスカウト技能を磨き奉仕能力を向上させる

ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊又はベンチャー隊の訓練指導に協力し奉仕する

第2章 名 称

本大会は～地区結成35周年記念大会～「第5回豊中地区キャンポリー」と称する（略称：5TC）
35th Anniversary
5th TOYONAKA CAMPOREE

第3章 テ ー マ

「Feel the Nature、Feel the Scouting!」
～自然を感じ、スカウティングを感じる～

雄大なる自然の中、“本物のスカウティング”を実践することで、豊中地区35年の歴史とスカウティングの原点に回帰し、豊中地区の全ての団、隊の更なる発展とスカウトの成長を願い、今大会のテーマとする。

第4章 会 場

1. 会場

ビーバー・カブ部門：希望ヶ丘文化公園・青年の城 滋賀県蒲生郡竜王町薬師 1178 Tel 077-586-2111
<http://www.shiga-kibougaoka.jp/>

ボーイ・ベンチャー部門：グリム冒険の森 滋賀県蒲生郡日野町熊野 431 Tel 0748-53-0809
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~grimm/>

2. 立地条件

希望ヶ丘文化公園・青年の城

名神高速道路 竜王ICより車で5分 JR琵琶湖線（東海道本線）近江八幡から近江バスで約30分
豊中より車で約60分 94km

グリム冒険の森

名神高速道路 竜王ICより車で40分 八日市ICから車で30分

新名神 甲賀土山ICより車で20分

豊中より車で約90分 112km すべてフリーサイトである

第5章 会 期

第5回豊中地区キャンポリー（以下5TCと称す）はボーイスカウト（BS）、ベンチャースカウト（VS）は平成23年8月10日（水）の開会式に始まり、8月16日（火）の環境整備をもって終了する。カブスカウト（CS）は8月13日（土）の開会式に始まり、8月16日（火）の閉会式をもって終了する。ビーバースカウト（BVS）は8月13日（土）の開会式に始まり15日（月）閉会式をもって終了する。
但しビーバー隊が宿泊を伴う活動へ参加する場合は団の十分な配慮の元に活動を行うこととする。

(日程表) B S ・ V S

日 時		午 前	午 後	夜
前日	8月 9日 (火)		準備作業	準備作業
第1日	8月10日 (水)	参加隊入場・設営	開会式	プログラム
第2日	8月11日 (木)	プログラム	プログラム	プログラム
第3日	8月12日 (金)	プログラム	プログラム	プログラム
第4日	8月13日 (土)	プログラム	キャンポリー大集会	キャンポリーナイト
第5日	8月14日 (日)	平和の日	プログラム	プログラム
第6日	8月15日 (月)	プログラム	プログラム	閉会式
第7日	8月16日 (火)	環境整備・撤営	参加隊退場	

C S ・ B V S

日 時		午 前	午 後	夜
第1日	8月13日 (土)		キャンポリー大集会	参加隊入場
第2日	8月14日 (日)	プログラム	プログラム	プログラム
第3日	8月15日 (月)	プログラム (BVS 閉会式)	プログラム (BVS 退場)	プログラム
第4日	8月16日 (火)	閉会式	参加隊退場	

(C S、B V Sの参加日数は団の状況によって変更される)

第6章 参加人員と参加資格

1. 参加人員

- ① 豊中地区各団 約500名
- ② 豊能ブロックガールスカウト、その他オープン参加 若干名

2. 参加資格

- ① 平成23年度加盟登録済みで所定の「健康調査票」に適合していること
- ② ボーイスカウト加盟員以外の参加者は、参加者の当該組織と協議の上参加できる。

第7章 参 加 費

1. 参加費

参加費はスカウトおよび指導者(大会本部要員を含む)ともに、下記の通りとする。

- B S ・ V S 参加者 一人あたり27,000円
 C S 参加者 一人あたり20,000円
 B V S 参加者 一人あたり17,000円

(但しC S ・ B V S 参加者に関しては宿泊数によって参加費は変更する)

2. 参加費に含まれている項目

食費(野営用米は含まない)、宿泊会場費、炊事用燃料費、会場設備費、会場運営費、
 参加章および配布資料、諸準備から報告書作成までの費用、会期中の救護衛生費、
 交通費、会期中の損害保険料、各部門の一部プログラム費
 (各隊でのプログラム費等は含まない)

第8章 参 加 申 込

- 参加予備申込締切日 : 平成22年12月20日(月)
- 参加確定申込締切日 : 平成23年 4月10日(日)
- 参加費納入締切日 : 平成23年 4月15日(金)

第9章 キャンポリー活動と日程

1. キャンポリー活動

キャンポリー活動は、大会期間を中心にその前後全ての活動を含む、一連のまとまりのある活動である。それには、大会参加の申込、準備訓練、大会期間中のキャンプ生活、参加者同士の交流、帰宅後の評価と報告まですべて含まれる。

大会でのプログラムはボーイスカウトの活動の目標を基本とし、参加者の個人的な成長を助け、本大会の目的を達成するために、次の点に留意して構築する。

- ラウンドテーブル主体のプログラムを行う
- 開催地の特色や周囲の環境を活かした、魅力あるプログラムを展開する
- 全ての参加者の成長を助けるよう身体的、精神的、知的、情緒的な発達と社会性について、それぞれをバランス良く配分して提供する
- 魅力的な活動を安全な環境のもとで実施する
- 廃棄物の発生を最小限にするとともに、資源やエネルギーの節約、再使用、再生利用等に配慮する

2. プログラムの区分

①プログラム

プログラムの基本はラウンドテーブル中心に構築する。基本となるのは班制を確立しプログラムは班毎に行う。C S、B V S部門は地区でのプログラムを確立する

②平和の日

参加者の信仰に基づいた、スカウツOWN、日々の礼拝の実施を奨励する

③全体行事

開会式(部門毎)

参加者が大会の開催を祝い、今大会の趣旨を確認する

キャンポリー大集会

すべての参加者同士が一堂に集いスカウト運動を体感し団結する

閉会式(部門毎)

キャンポリーで過ごした時期をふり返り全てに感謝の心をもつ。

④環境整備

キャンプ地は原状に復し、感謝のみ残して退場することがスカウトキャンプの鉄則である。このため環境整備のプログラムを設定する。

3. 日程

プログラム実施日については日程表の通り定め、実施時間に関しては、ゆとりある大会を実現するために、次の基本日課の午前、午後、夜間の活動時間内とする

【基本日課】

起床	6 : 0 0	夕食	1 8 : 0 0
朝食	7 : 0 0	国旗降納	1 8 : 3 0
国旗掲揚	8 : 3 0	夜間の活動	1 9 : 3 0 ~ 2 1 : 0 0
午前の活動	9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	就寝	2 1 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0	消灯	2 2 : 0 0
午後の活動	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0		

※ C S、B V Sに関しては独自に定める

第 1 0 章 組織と運営

1. 運営組織

本大会の運営組織は大会組織図による。(付表－１)

2. 運営と活動単位

本大会の運営と活動の単位は参加隊である

3. 区分

各参加隊による自主的な諸活動の円滑なものにするために、参加のビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー隊をそれぞれのブロックに区分する。ローバー隊に関しては独自に定める

第 1 1 章 会場利用計画と参加者の生活

1. 会場利用計画

①キャンプサイト

フリーサイトを参加隊の人数に応じてその広さを決定する。

②舎営宿舎

基本的に全館貸し切りとする。利用条件等に関しては施設の規定に厳守する。

2. 食事（配給）

①食料の配給

食事は野外炊事とし、大会本部から米以外の食料の配給を受ける。

食料の配給は8月10日（水）夕食から8月16日（火）昼食までの21食分として配給する

②炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて配給する。

③標準献立

標準献立表は別途配布する

※ B V S、C Sに関しては宿舎の規則に従う

3. 服装および携行品

①服装

参加者の入退場は制服を着用する

全体行事（開会式、全体集会、閉会式）に参加する際は制服を着用する

制服には参加章、記章、標章を正しく着用する。

生活作業の際には、それに適した服装とし、プログラム参加時の服装、携行品については隊の指示による

②携行品

参加者の携行品およびキャンプ用装備は、快適なキャンプ生活を維持し、かつ楽しいキャンプ生活ができるよう、簡素でしかも精選されたものを準備する。これらの準備品等は準備訓練で十分に使い慣れておくこと。

※ 会場は日陰がないので、フライシート等日除けが必要である。

※ 直火は禁止されているので立ちかまどが必要である

※ 炊事に関してすべて個々のサイトで行う

※ C S、B V Sに関しては別途定める

第 1 2 章 輸 送

1. 集散移動に関する経費

参加者の居住地からバス発着場所までの移動に要する経費は、すべて参加者負担とする。

2. キャンプ装備品の輸送

参加隊の貨物の輸送は、各団の責任に於いて行う

第 1 3 章 安全管理と救護衛生

1. 安全管理・事故の防止

大会の参加者は、快適な生活を過ごすと共に、キャンポリーを心に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。

特に参加隊において指導者は生活、プログラム活動をとおして、安全指導、安全管理について万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみから大事故につながる恐れがあることを忘れず、安全の三原則を厳守しなければならない。

〈安全の三原則〉

- ・自分の安全は自分で守る
- ・ルールを守る
- ・安全を最優先すること

2. 健康管理・個人衛生

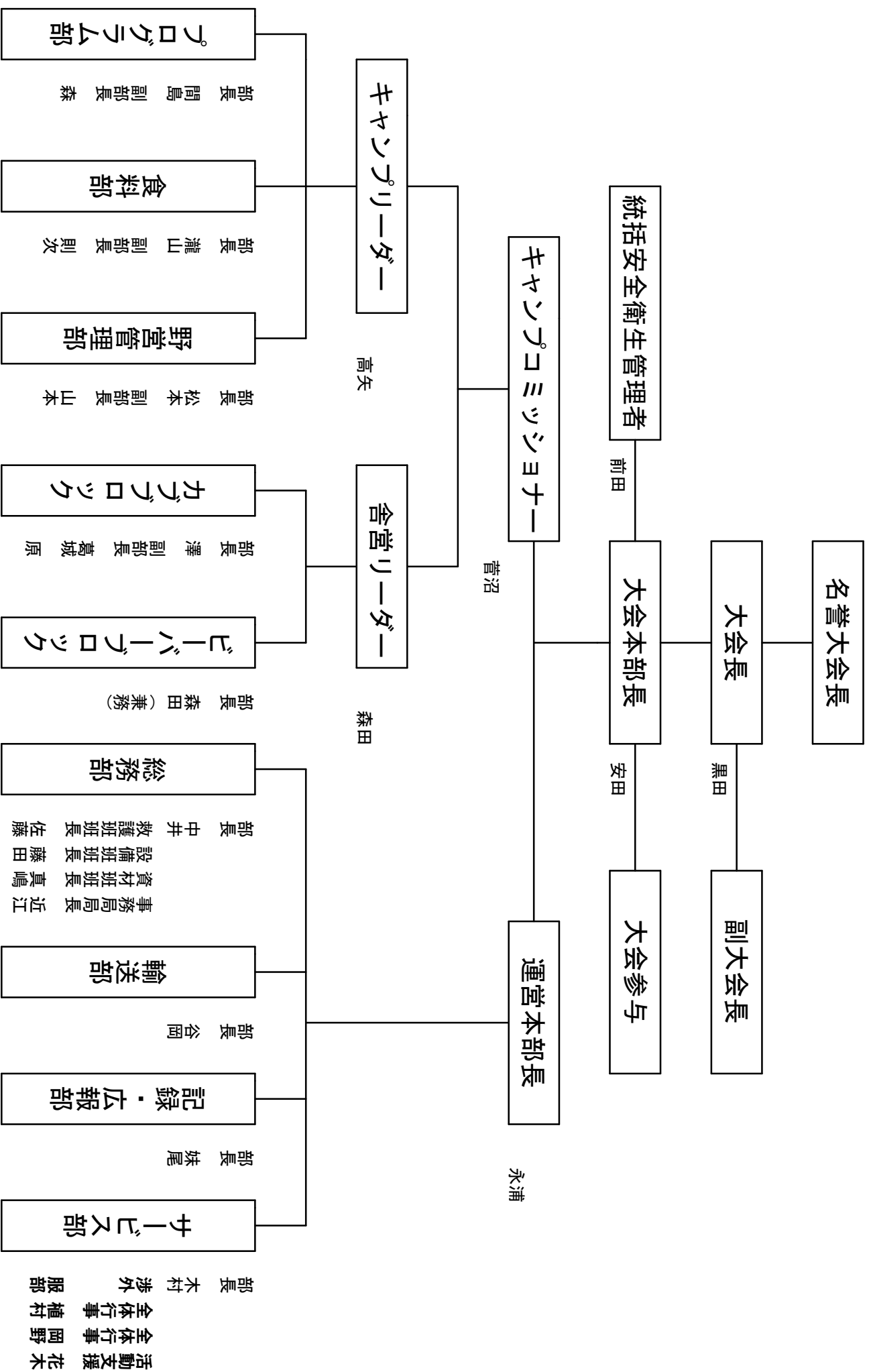
参加者は、各指導者の指導のもとに、健康管理と保健衛生に十分留意する。

参加隊は、「健康調査書」「健康保険被保険者証」の写しを管理する。

3. 救護所

B S ・ V S 部門での会場内では参加者の健康管理と傷病に対して万全を期するため、可能な限りの医療処置ができる救護所を設置する。また外部の医療機関との連携をはかり、傷病の度合いにより搬送、受診ができるよう手配をする。

大 会 組 織 図



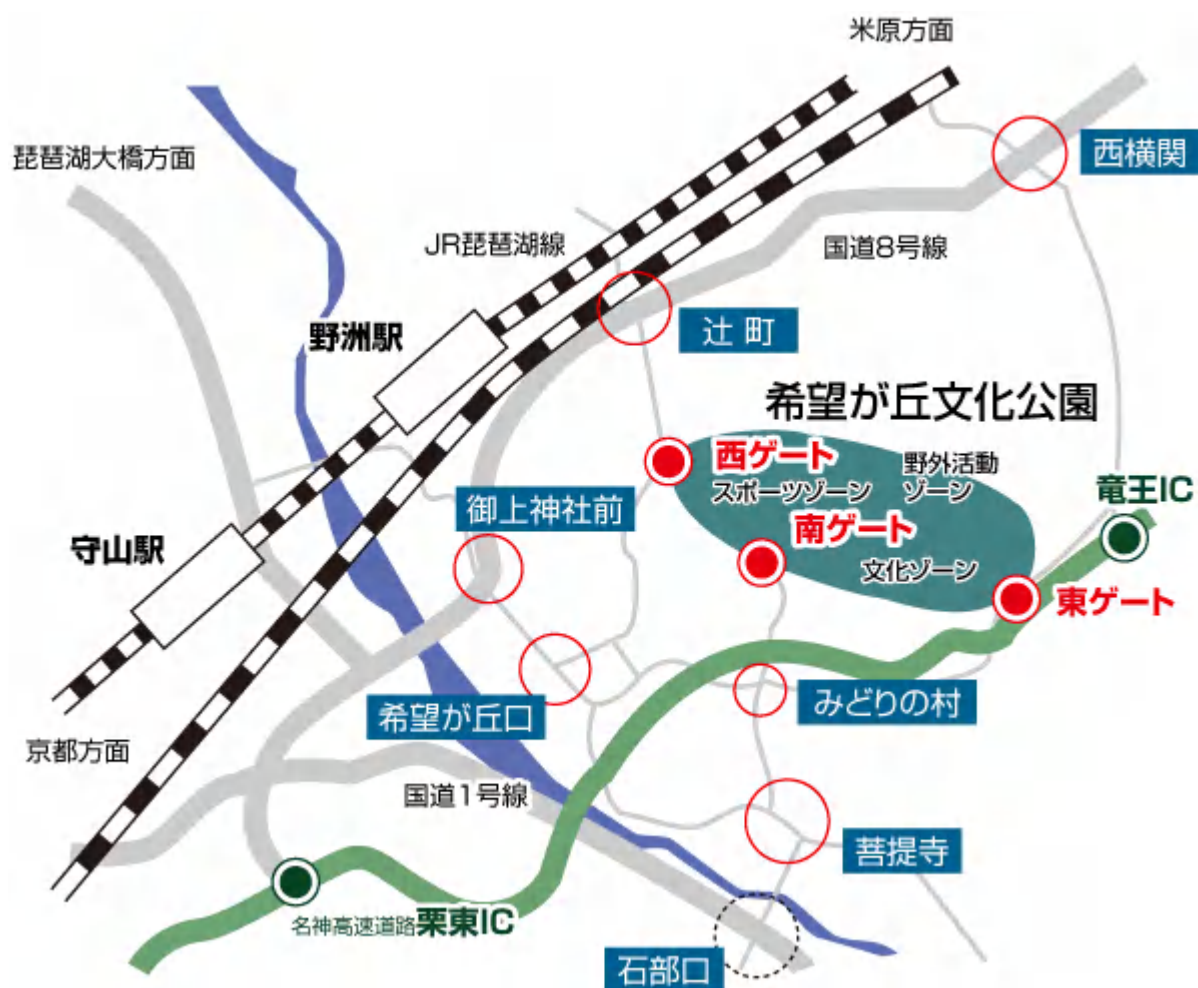
付表－２ 大会本部の各部の所掌業務（その１）

部 署	所 掌 業 務
大会長	大会を代表する 参加者ならびに大会運営の全てに関する総責任者となる
副大会長	大会長を補佐する 大会長不在の時は、これを代理する
大会参与	大会運営の全般について。大会長の諮問に応じ、また大会長に助言する 大会長に協力し、大会運営を支援する
大会本部長	大会長の指揮の下で大会運営の全般について統括する
統括安全衛生管理者	キャンポリー全体の安全と衛生全般について統括する
運営本部長	運営本部を統括する ５ＴＣの運営・管理 大会参与及び来賓に関すること 大会予算の立案・調整
キャンプコミッショナー	キャンプ、舎営全体を統括する 大会行事を統括管理すると共に参加隊のプログラム活動を支援する
キャンプリーダー	各野営参加隊を統括しプログラム活動を支援する
舎営長	舎営における参加隊のプログラム活動の全面支援 舎営参加者の生活にかかわる事項の掌握 来訪者に対する援助

大会本部の各部の所掌業務（その２）

部 署		所 掌 業 務
運 営 本 部 長	総務部	会場との渉外 諸会議の開催準備 大会予算の立案 参加申込に関すること 資金・現金の管理 保険に関すること その他所掌に属さないこと 安全に関すること 救護所の開設運営 環境保全に関すること
	輸送部	場内・会場周辺の交通規制に関すること 参加者の輸送に関すること 期間中の人員・荷物の輸送に関すること 業務用車両に関すること 駐車場に関すること
	記録・広報部	記録映画、写真の撮影 報道関係への取材協力 大会テーマソング、シンボルマークの公募、作成 参加章などの調達 記念品の製作、販売
	サービス部	見学者に関すること 来賓、来訪者に関すること レセプションに関すること ガールスカウト等の参加に関すること
キ ャ ン プ リ ー ダ ー	プログラム部	プログラム（場内、場外）に関すること 開会式、閉会式に関すること 国旗儀礼に関すること 信仰奨励に関すること
	食料部	参加隊の食料と炊事用燃料に関すること 本部食料に関すること プログラムに必要な食材の管理
	野営管理部	会場の利用に関すること 野営地の安全、設備の構築、維持管理に関すること 会場での環境保全に関すること 会場内の警備に関すること 防災に関すること 救護に関すること 危機管理に関すること

付表－3 BVS・CS部門 希望ヶ丘文化公園 会場周辺図



付表－4 BS・VS部門 グリム冒険の森 会場周辺図



付表－５ キャンポリ－年表

回数	開催年月	開催場所	参加人数	参加団数
１	1980（昭和 55 年）. 8. 13～17	滋賀県 あいばの	8 9 7	2 1 ヶ団
２	1989（平成 １ 年）. 8. 12～16	滋賀県 マキノ高原	1, 4 2 3	2 5 ヶ団
３	1896（平成 ８ 年）. 8. 11～15	京都府 大江山他	8 4 1	2 1 ヶ団
４	2004（平成 16 年）. 8. 11～15	愛媛県 大三島町	6 6 1	1 4 ヶ団
５	2011（平成 23 年）. 8. 10～16	滋賀県 グリムの森他		

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

日本ボーイスカウト大阪連盟

豊中地区

〒 561-0858 豊中市服部西町 4－1 3－1

市立青年いぶき内

TEL：06－6866－3030

FAX：06－6866－2798

E-mail：bs_toyonaka@yahoo.co.jp

URL：http://boyscout-toyonaka.seesaa.net/